

## I. 札幌市 MICE 総合戦略

## ① 目的

札幌の都市の魅力をも十分に生かした MICE の推進に取り組み、地元への直接的な経済波及効果、札幌のブランド力向上と観光を含めたリピーター確保、学術レベルの向上や発展、市民における創造性の育成等を図ることを目的に、平成 27 年度（2015 年度）から令和元年度（2019 年度）の新たな取組の方向性を策定しました。

## ② 目指す姿

## ◆ 「札幌の魅力あふれる“ONLY ONE” MICE 都市」

「重点誘致ターゲット」に狙いを定めて集中的な誘致プロモーションを行う積極的誘致戦略と、札幌の弱みとなっている MICE 受入基盤の強化戦略を実行することで、「直接的・間接的経済波及効果」、「リピーター確保による観光客増」、「市民満足と創造力の醸成」、「札幌の国際的知名度の向上」という MICE による効果を高めます。

## ③ 計画期間

平成 27 年度（2015 年度）～令和元年度（2019 年度）の 5 年間\*

注記）\*：次期札幌市 MICE 総合戦略を策定中



## ④ 主な施策

施策①	勧誘・セールス (ターゲットをしっかりと見据えたセールス活動・札幌の魅力を確実にすり込むプロモーション)
施策②	開催支援・おもてなし (MICE 誘致支援制度の拡充・市民ボランティアによるおもてなし)
施策③	人材育成・高度化 (民間事業者・ボランティア等の知識やノウハウの向上)
施策④	組織・運営力の強化 (札幌国際プラザ・コンベンションビューローを中心とした組織強化)
施策⑤	施設・設備整備 (札幌コンベンションセンターの改修・MICE 施設機能の強化)

## Ⅱ．定山溪観光魅力アップ構想

### ① 目的

札幌の集客交流を担う重要な温泉地として、また、札幌市民に愛される札幌の温泉地として、ソフト・ハードの両面から温泉観光地として魅力の底上げを図るとともに、新たな価値を創出・発信することを目的に、今後の定山溪の方向性を明らかにし、札幌市と一般社団法人定山溪観光協会、ホテル・旅館、その他の事業者、住民が一体となって魅力的な観光地づくりを進めるための指針を策定しました。

### ② 目指す姿

#### ◆「湯めぐり、森めぐり、水めぐり、四季あそび—札幌定山溪」

市民や観光客が嗜好に合わせて様々な楽しみめるような、温泉を中心とした新しい価値と魅力をもつ札幌の温泉観光地を目指します。

定山溪温泉街の情緒やそぞろ歩きをしたくなる環境などの「温泉街としての更なる魅力向上」と、広域的なリゾートエリアの構築のため、点在する観光資源を活用した「定山溪エリアとしての魅力創出」の2つを主軸として、官民一体で取組を推進しています。

### ③ 計画期間

平成 27 年度（2015 年度）～令和 6 年度（2024 年度）の 10 年間

### ④ 主な施策

基本方針①	温泉街らしさやにぎわいづくり
基本方針②	広域的なネットワーク化による新たな魅力創出
基本方針③	魅力を伝える情報発信・インフォメーションの強化
基本方針④	魅力アップの担い手育成とマネジメント



## Ⅲ. スノーリゾートシティ SAPPORO 推進戦略

### ① 目的

スノーリゾートとしてのブランド化を推進し、訪日外国人旅行者をはじめとした観光客の増加及び滞在期間の長期化により冬期の観光消費拡大を図ること、また、新型コロナウイルス感染症で大きな打撃を受けた札幌観光の回復に資するとともに、市民のウィンタースポーツ振興等にも寄与することを目的とし、市内スキー場、関連事業者、関係団体、行政が一体となって取り組むための指針を策定しました。

### ② 目指す姿

#### ◆ブランディングコンセプト：「Powder in the City」

市内スキー場やスノーアクティビティ等の雪体験コンテンツの魅力を更に高め、「雪の街の魅力」を観光客の誘客に最大限に活用するとともに、充実した都市機能や観光コンテンツを備えた「国際観光都市の魅力」との融合により、札幌でしか実現できない、街全体で冬を楽しむ「都市型スノーリゾートシティ」としてのブランド化を目指しています。

新幹線延伸によりニセコへのアクセスが飛躍的に向上することに伴い、北海道全体のスノーリゾートとしての価値を高め、「一大スノーリゾートエリア」としての世界的ブランド確立を目指しています。

### ③ 計画期間

令和3年度（2021年度）～令和12年度（2030年度）の10年間

### ④ 主な施策

基本方針①	観光客の多様なニーズに対応できるスキー場へのレベルアップ
基本方針②	雪の街札幌ならではの観光コンテンツの充実
基本方針③	ブランド力向上や周遊促進に向けた事業者連携の推進
基本方針④	来訪者の満足度を高めるストレスフリーなサービス・インフラの提供
基本方針⑤	スノーリゾートとしてのブランド化を目指したマーケティングの強化
基本方針⑥	道内スノーリゾートとの広域連携の促進



## I. 次期札幌市観光まちづくりプラン検討委員会

## ① 設置目的

有識者や観光事業者・団体の代表者等からなる公開の委員会で、本プランを調査・審議することを目的としています。

## ② 議事次第

## ● 第1回

日時	令和4年(2022年)7月14日(木)14:00～
場所	札幌市役所本庁舎18階 第1常任委員会会議室
議題	1. 委員長・副委員長の選出 2. 検討委員会の概要 3. 次期札幌市観光まちづくりプランの策定スケジュール 4. 次期プラン(現状分析、取組の方向性) 5. 推進体制(観光地経営の視点で、札幌市が強化すべきこと)

## ● 第2回

日時	令和4年(2022年)9月16日(金)13:30～
場所	札幌市役所本庁舎18階 第2常任委員会会議室
議題	1. 次期プラン骨子案 2. 推進体制 3. 市民アンケート等実施案

## ● 第3回

日時	令和5年(2023年)1月11日(水)13:00～
場所	札幌市役所本庁舎18階 第2常任委員会会議室
議題	1. 次期プラン素案 2. 推進体制

## ● 第4回

日時	令和5年(2023年)3月9日(木)9:30～
場所	札幌市役所本庁舎18階 第1常任委員会会議室
議題	1. 次期プラン素案 2. 推進体制強化に向けた提言(案)

### ③ 委員一覧

氏名 *1	所属 *2
秋野 正明	一般社団法人日本旅行業協会北海道支部 北海道事務局事務局長
○池ノ上 真一	北海商科大学商学部観光産業学科 教授
泉 善行	一般社団法人札幌観光協会 専務理事
井上 かおり	公益社団法人北海道観光振興機構 海外誘客部統括部長
◎遠藤 正	北海道大学観光学高等研究センター 客員教授
大島 昌充	一般社団法人すすきの観光協会 会長
荻 麻里子	公益財団法人札幌国際プラザ コンベンションビューロー部長
金森 淳司	札幌市内ホテル連絡協議会 代表幹事
鈴木 宏一郎	株式会社北海道宝島旅行社 代表取締役社長
橋本 吉巧	札幌ホテル旅館協同組合 理事長
古川 雅朗	一般社団法人定山渓観光協会 会長
桃井 真弥	株式会社日本政策投資銀行 北海道支店次長
山形 宣章	札幌商工会議所 国際・観光部長

注記) \*1 : ◎委員長、○副委員長、敬称略、五十音順

\*2 : 肩書は検討委員会開催当時のもの

第1章

第2次札幌市観光まちづくり  
プランの策定に当たって

第2章

将来ビジョン

第3章

現状分析

第4章

施策展開

第5章

成果指標

第6章

推進体制の  
強化に向けて

資料編

## Ⅱ．観光事業者ヒアリング調査

### ① 目的

本プラン策定のために、札幌市内の観光関連事業者や事業者団体にヒアリング調査を行い、札幌市観光の現状分析及び取組の方向性について、実態に沿っているか、欠けている視点がないか等を確認することを目的としています。

### ② ヒアリング内容

札幌観光の現状分析	札幌観光における強みや弱みについて事業者の認識
	事業者の属する業界における機会・脅威の捉え方とその対処
札幌観光における問題点及び取組の方向性	札幌観光における問題点
	問題点を解決するための取組

### ③ ヒアリング結果概要

実施時期	令和4年（2022年）8月から9月
ヒアリング数	観光関連事業者7社（交通、航空、宿泊、メディア、飲食、観光施設） 事業者団体2団体（交通）

#### (ア) 強み

##### ● 自然環境

- モエレ沼公園のような自然を感じられる公園は観光客の評価が総じて高い（メディア）
- 天然雪に恵まれたスキー場は人工雪を必要とせず環境負荷が少なく持続性がある（交通）
- これだけ都市に近いスキー場を楽しめることは強みであり、もっと打ち出していければいい（航空）
- ゴルフ・スポーツツーリズムの愛好家にとって夏季の冷涼な気候は強み（宿泊、交通）

##### ● 食

- 札幌の食の魅力は高く、観光客からの期待感が高い（メディア、飲食）

##### ● アート・エンターテインメント

- Kitaraは音楽家の中で高い評価のコンサートホールであり、アートやエンターテインメントの評価が高い（交通）

#### (イ) 弱み

##### ● 繁閑差の大きさ

- 繁閑差は観光事業者にとって雇用や収益など様々な課題の原因となっている（宿泊）
- オータムフェストから雪まつりの間は大きなイベントが少ない（小売）

##### ● 二次交通への不満

- 地下鉄では行けないような都心部から離れたイベント時の移動が難しい（航空）
- 札幌駅からバス等への接続性が悪く観光客にとって利便性が悪い（小売）
- 観光施設間の交通の利便性が悪い（観光施設）

## ● コンテンツの不足・弱さ

- ・雪という天然資源を生かして遊んでもらうコンテンツが不足している（小売）
- ・お酒を飲まない若年層や家族連れが飲食後に楽しめるコンテンツが不足している（小売）
- ・昼のコンテンツが不足しているためか、日中の観光は周辺都市、夕食と宿泊は札幌市内という周遊パターンが形成されている（交通、小売）
- ・有名な観光資源が札幌駅の南側に集中し、観光客の動線が南北方向に固定され東西方向が弱い可能性がある（交通）
- ・悪天候時などに利用できる屋内観光施設が不足している（観光施設）

## ● 観光人材不足

- ・人材は継続的に不足し機会損失が生じている（宿泊、メディア、交通、飲食）

## ● 雪の移動リスク

- ・雪により交通事情が悪化して遅延や運休が生じる（交通）

## ● その他

- ・現状の昼のコンテンツは乗馬やアドベンチャーツーリズムが有力だが、小規模事業者が多く受入れキャパシティが脆弱であるため、こうしたコンテンツの提供を担う事業者に投資すべき（小売）
- ・夜間観光が強みと言えるのは市内中心部だけで、ホテルにチェックインした後、郊外に夜間観光を目的に出歩く観光客は少ない（観光施設）
- ・イベントは市民参加が多いためか、開催のための費用と比較すると観光消費が少ない（観光施設）

## (ウ) 機会

### ● 北海道新幹線の札幌延伸

- ・ニセコと約 40 分で往来可能になることで、札幌は冬季のニセコの高価格帯ホテルに宿泊できない中間層の宿泊客の受け皿になる可能性がある（交通）

### ● 丘珠空港の滑走路延長

- ・富裕層の北海道観光拠点（プライベートジェット）となる可能性がある（交通）
- ・都心部と近いことから、出張帰りに飲食を楽しむという消費額単価増につながる可能性がある（飲食）

### ● デジタル技術の発展

- ・電子決済を活用する実証事業が活発化している（交通）

### ● 富裕層・欧米豪のニーズ

- ・富裕層や欧米豪はワインなどのアルコール飲料に対して関心が強い（メディア、飲食）

## ● その他

- ・市内中心部にオープン予定の水族館は修学旅行生向けのキラーコンテンツになりうる（小売）

## (エ) 脅威

### ● 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化

- ・新型コロナウイルス感染症の影響による航空機のサイズダウンに伴って修学旅行客も減少している（小売）

## (オ) 問題点の整理

### ● 観光消費額単価

- ・素材の良さに甘えて磨き上げがされていない（交通）

### ● 受入環境

- ・バリアフリーが普及していない（交通）
- ・路線バスの経由地や行先に観光地の名称が表記されていない（交通）
- ・Sapporo City Wi-Fi が用意されているが使い勝手があまりに悪い（小売）
- ・サピカに互換性がなく観光客にとっても利便性が悪い（交通）

### ● 持続可能性

- ・観光業に携わっている人材の高齢化対策が必要（交通）
- ・コロナ禍で従業員1人当たりの生産性を高めており、観光人材育成の余力がない（観光施設）

### ● その他

- ・女性観光客が観光消費をしたいと思う場所がデパートなどに限られ少ない印象がある（交通）
- ・札幌在住の外国人による白タク行為は改善が必要（宿泊）
- ・札幌市の観光施策の重点がわからず、官民で取り組む機会が少ない（観光施設）
- ・札幌観光の活性化を進めるリード役や協議する場がなく、個々で取組を行っている（観光施設）

## (カ) 取組の方向性の整理

### ● 観光客数の確保

- ・ターゲットを明確にして絞り込み、誘客を行う必要がある（航空）
- ・ススキノ／ゴルフニーズのあるビジネス客は有望なターゲットとなりうる（航空）
- ・コンサートやイベントを閑散期に開催することによる需要喚起が望まれる（交通、宿泊、小売、飲食）
- ・宿泊施設でのペット同伴の許可により新たな需要が取り込める（交通）
- ・歴史・文化コンテンツが弱いがアイヌ文化のように他地域の方が強いものを取り上げても独自性が出ないので北海道全体の観光客数の底上げを図り、札幌の役割と周辺都市の役割を見極めた活動をするのがよい（メディア）
- ・閑散期対策や平日需要喚起は優先度が高い取組（飲食）
- ・道の駅など地場産品と観光客が集まる施設を作ることを検討できないか（交通）
- ・教育旅行を誘致する取組が弱いのではないか（小売）

### ● 観光の質の向上

- ・繁閑差の平準化による安定雇用の実現が望まれる（交通、宿泊、メディア）
- ・既存の観光資源の見せ方／伝え方、組み合わせ方の工夫による磨き上げが必要（交通）
- ・個々の単価向上ではなく組み合わせで全体的な付加価値向上を図るべきではないか（航空）
- ・欧米のスノーリゾートは週・月単位の休暇で過ごしており日本との観光スタイルに差がある。その差に応じた取組が必要（航空）
- ・観光消費額単価を上げるため富裕層のニーズの把握が必要（交通）
- ・インバウンドも楽しめるノンバーバル（言葉を用いない）コンテンツの造成が望まれる（宿泊）



- ・欧米豪の感度が高く食との相性のよいアルコールツーリズムは有望（メディア、飲食）
- ・質の高い飲食店を通じて高レベルの食文化を知ってもらうことで、富裕層も食を楽しみに札幌を訪問してくれる（交通）
- ・丘珠のたまねぎ、八剣山のワインなど市内の美味しいものをもっと広めてブランド化を図るべきであり、その結果、地産地消や域内サプライチェーンの強化につながる（交通）
- ・冬のコンテンツ造成にはお金がかかるため資金援助が必要（観光施設）

### ● 観光客の満足度向上

- ・北海道限定の商品など、本州の人にとって珍しいものを活用して観光客が楽しめるエンタメ要素を入れ込み、行かなきゃ損と思わせる仕掛けがあるとよい（宿泊）
- ・コンシェルジュ機能を発揮できる人材育成が必要（交通）
- ・交通機関でのキャッシュレス対応は進んでおり、さらに実施するとすれば、海外電子マネーへの対応（交通）
- ・交通機関の運行情報の一元管理と宿泊施設や観光案内所での情報提供により観光客の利便性向上が図られる（小売）
- ・市内中心部にバスターミナルまたはバスの待機スペースを設置し観光客の利便性向上を図るべき（小売、交通）
- ・公共交通の接続が良くないと思われるため、新幹線延伸に向けてはバス等の二次交通への接続について都市設計に踏み込んで検討すべき（小売）
- ・市内中心部とスキー場や観光施設間を繋ぐバスの充実が望まれる（交通、飲食、観光施設）

### ● 持続可能な観光の推進

- ・周辺自治体と協力して誘客する体制の構築が必要（交通、飲食）
- ・北海道全体の観光客数を増やす取組を行った上で札幌市を拠点としてもらうのが合理的（飲食）
- ・業界横断的な連携が必要（交通）
- ・雪による交通障害を防止するため、タイムリーな除雪体制の整備が望まれる（交通）

## Ⅲ．学生向けワークショップ

### ① 目的

札幌市の観光まちづくりでは、産民学官の連携による地域一体となった観光地経営の実現を目指していることから、札幌市の観光の現状について学生に講義し、学生が実践的に札幌観光の施策を策定する機会を設けることで、将来の観光産業を担う人材育成につなげることや、本プラン策定のために札幌観光について若者と意見交換することを目的としています。

### ② 実施概要

北海道大学公共政策大学院と共催で、北海道大学の学生に対するワークショップ「さっぽろの観光まちづくりを考える」を三回にわたって開催しました。札幌観光の現状や課題を講義形式で参加学生に伝えた上で、札幌観光の強みと、若者が札幌を観光したいと思うような札幌の価値についてグループディスカッションを行い、ディスカッションで検討した施策をグループごとに発表していただきました。

#### ■ 学生が考えた札幌の強み

- ・食が豊富
- ・移動しやすい都市構造
- ・はっきりした四季
- ・独自の景観
- ・他の都府県とは違う美しい雪
- ・さっぽろ・大通からのアクセス利便性
- ・短い休暇でも楽しめる（非日常）
- ・梅雨がなく四季がある（景観を楽しむ）

#### ■ 学生が考えた札幌が提供できる価値

- ・食べ物の種類が多く、新鮮でおいしい
- ・住居にゆとりがある
- ・都市部に、北海道のイメージにある広大な自然がある
- ・市街地がコンパクトにまとまっている
- ・ホンモノを提供できる（地産のもの、歴史的文化的に価値のあるもの）
- ・非日常を味わえる
- ・短い休暇でも多様な体験ができる（アクセスのよさ、コンパクトシティ）
- ・同じ場所でも季節により異なる景観・体験を楽しむ

#### ■ 学生が考えた具体的な施策

- ・都会の自然の中でのジギスカン（北海道大学、円山公園、中島公園、豊平川河川敷等）
- ・都会の近郊での野菜収穫体験、加工・流通現場の見学
- ・一戸建て住宅での宿泊体験
- ・家族連れゲストハウス
- ・札幌の自然や景観を楽しめるフォトラリー
- ・地下鉄も徒歩も！ウォークアブル推進、同時多発的「さっぽろまちなか食マルシェ」
- ・サッポロドームの活用（宇宙イベントの誘致など、情報感性の高い人たちが集まるイベント開催）
- ・札幌の多様な楽しみ方を伝えるモデルコースの提案
- ・雪を知らない人たちに！札幌で感じるスノーカルチャー

●第1回

日時・場所	令和4年(2022年)11月7日(月)18:15~19:45 北海道大学共同講義棟5番教室
参加学生数	9名
内容	札幌観光を取り巻く社会情勢や札幌観光の現状と課題を説明

●第2回

日時・場所	令和4年(2022年)11月14日(月)18:15~19:45 北海道大学法学部研究棟210室
参加学生数	8名
内容	どのように札幌の強みを生かした札幌観光の価値を若者に提供できるか2グループに分かれ検討

●第3回

日時・場所	令和4年(2022年)11月21日(月)18:15~19:45 北海道大学共同講義棟5番教室
参加学生数	8名
内容	第2回での検討結果をグループごとに発表

# Ⅳ. 市民の観光に関する意識調査

## ① 調査結果

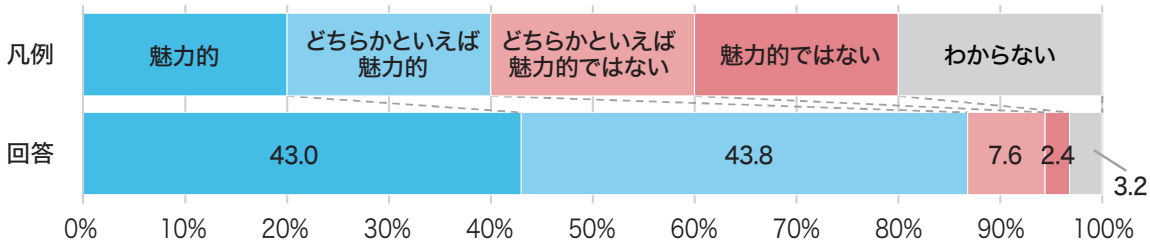
### 調査設計

調査対象	市内在住の満 18 歳以上の市民（男女比を同数、年齢を 10 歳ごとに同数）	
調査方法	民間調査会社のモニター調査（インターネット調査）	
実施時期	令和 4 年（2022 年）11 月	
サンプル数	500 件	
調査項目	設問数	全 16 問
	分野	観光地「札幌」に対する意識・評価（6 問）
		観光客の来訪に対する意識・評価（4 問）
		観光客に対する意識・評価（3 問）
	回答者属性（3 問）	

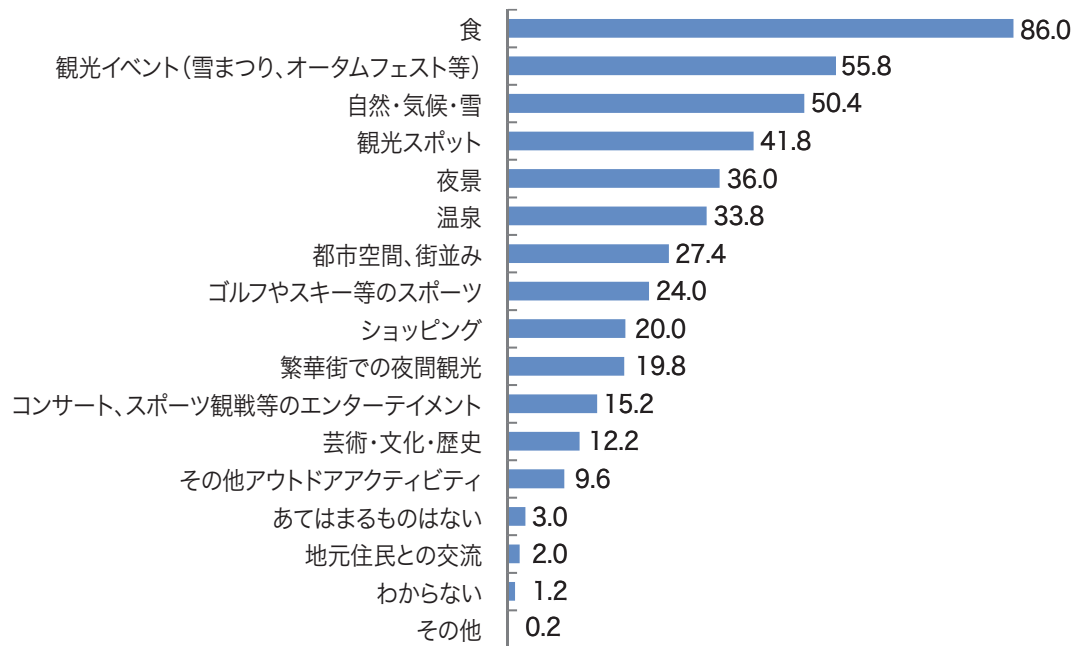
### 調査結果

#### ◆観光地「札幌」に対する意識・評価

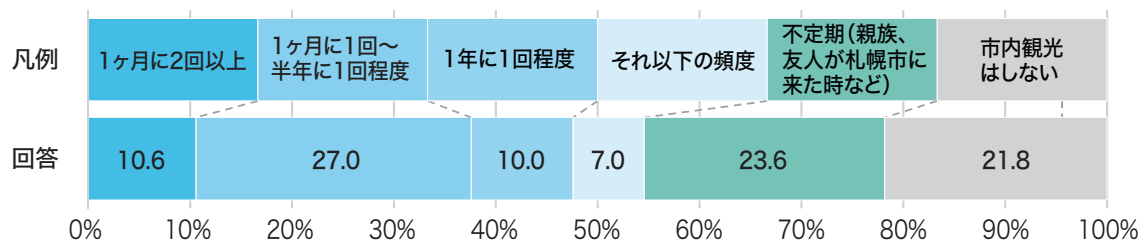
●あなたは、札幌が観光地として魅力的だと思いますか、次の中から 1 つお選びください。（%）



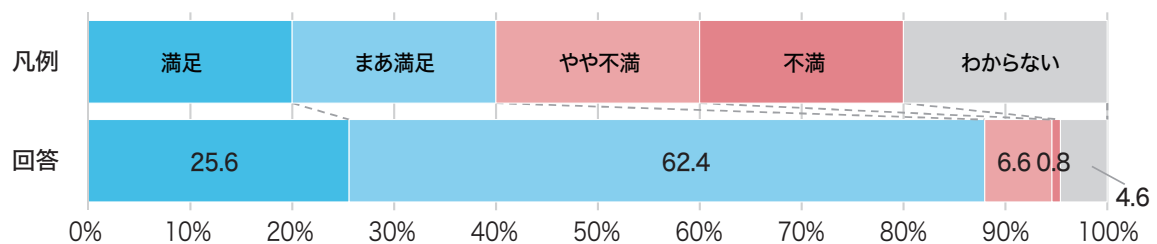
- あなたは、札幌観光の魅力はどこにあると思いますか。次の中から、あてはまるものをすべてお選びください。(いくつでも) (%)



- あなたは、普段どの程度の頻度で札幌市内を観光（観光スポットや美術館、博物館、体験施設等への訪問など）しますか。次の中から1つお選びください。(%)



- 前問で「市内観光はしない」以外を回答した方にお聞きします。今までに、あなたが札幌市内を観光した際の満足度について、次の中から1つお選びください。(%)



第1章  
第2次札幌市観光まちづくり  
プランの策定に当たって

第2章  
将来ビジョン

第3章  
現状分析

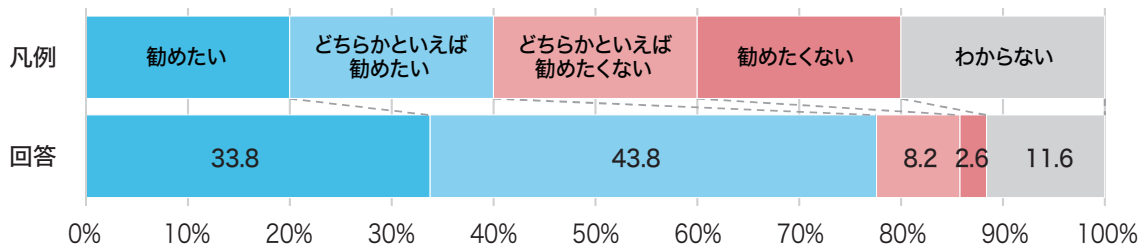
第4章  
施策展開

第5章  
成果指標

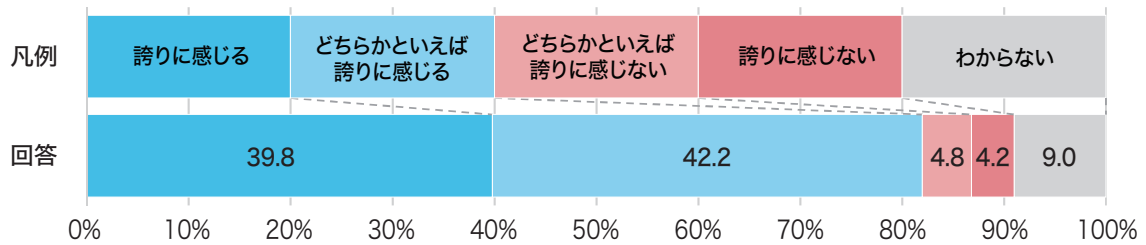
第6章  
推進体制の  
強化に向けて

資料編

●あなたは、札幌市外にいる親族や友人等に対して、観光地として札幌を勧めたいですか。次の中から1つお選びください。(%)



●あなたは、札幌が観光地として評価されることを誇りに感じますか。次の中から1つお選びください。(%)

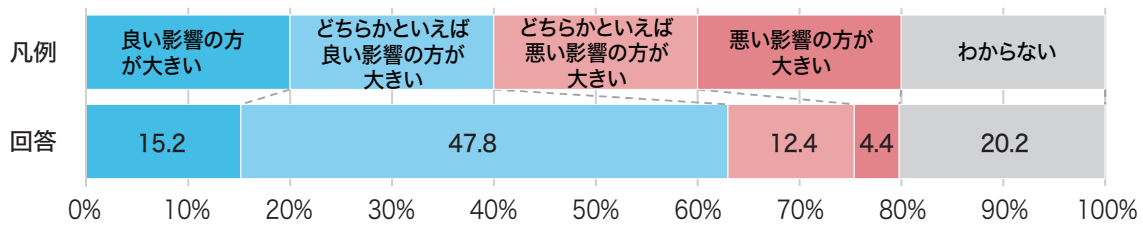


## ◆観光客の来訪に対する意識・評価

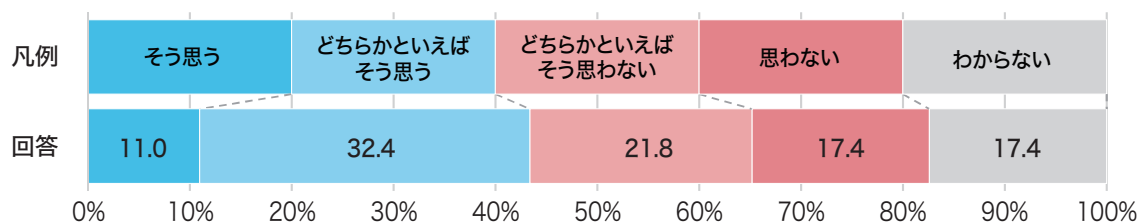
●札幌に多くの観光客が訪れることで、あなたの生活に対する影響があると思いますか。以下それぞれの項目ごとに、実感されているかお答えください。また、あなたにとって、その影響が重要だと思われる場合には、チェックをつけて下さい。

	実感している	実感していないが、そう思う	実感していない	わからない	重要だと思う
1. 勤めている会社等の売上が増加し、給与等への好影響がある	3.8	16.6	56.0	23.6	22.6
2. 新規出店等の投資が活性化し、飲食店や商業施設等が充実する	11.4	41.2	29.2	18.2	37.5
3. 町並みがきれいになる、まちに活気がでるなど、生活環境が向上する	17.8	42.6	27.2	12.4	47.4
4. 観光客と接する機会が増えることで交流が促進され、交友関係が広がる	7.0	33.4	44.2	15.4	14.3
5. 飛行機・鉄道・地下鉄・バスなど、直行便や便数の増加、路線の維持に繋がり、交通の利便性が向上する	20.2	45.4	24.2	10.2	46.9
6. 観光客が増えることを見越した投資の活発化により、物価や地価が高くなる	16.8	41.0	23.2	19.0	16.9
7. 観光施設周辺が混雑し、騒音やごみの増加等により生活環境が悪化する	17.0	34.4	29.4	19.2	20.8
8. 道路の渋滞や公共交通機関の混雑により交通環境が悪化する	18.0	35.2	30.8	16.0	18.9
9. 開発によりまち並みや景観、自然が損なわれ、生活環境が悪化する	11.2	25.0	43.6	20.2	13.7
10. 観光客のマナー違反（食べ歩き、騒音など）によって、迷惑する	20.8	32.0	31.2	16.0	28.2

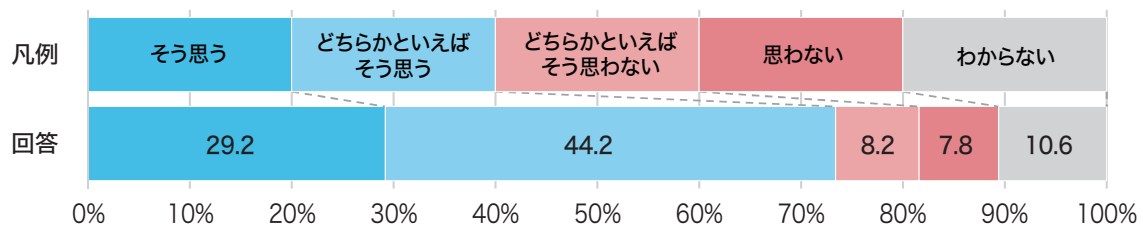
●札幌に多くの観光客が訪れることは、あなたにとって良い影響と悪い影響のどちらが大きいですか。(%)



●札幌に多くの観光客が訪れることは、あなたの生活を豊かにすると思いますか。次の中から1つお選びください。(%)

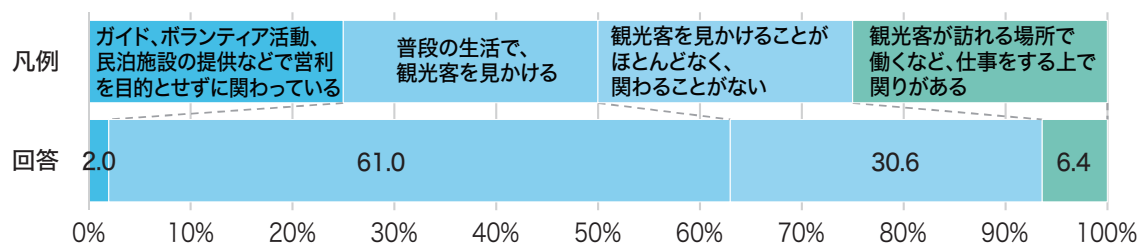


●あなたは、札幌の発展に、観光は重要な役割を果たしていると思いますか。次の中から1つお選びください。(%)



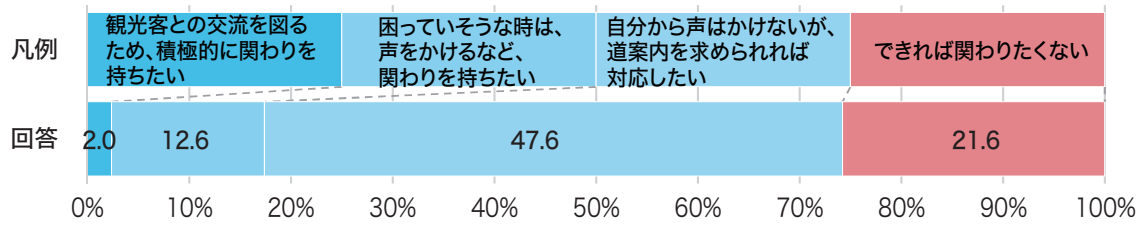
◆観光客に対する意識・評価

●あなたは、札幌に来る観光客との関わりがありますか。次の中から1つお選びください。(%)

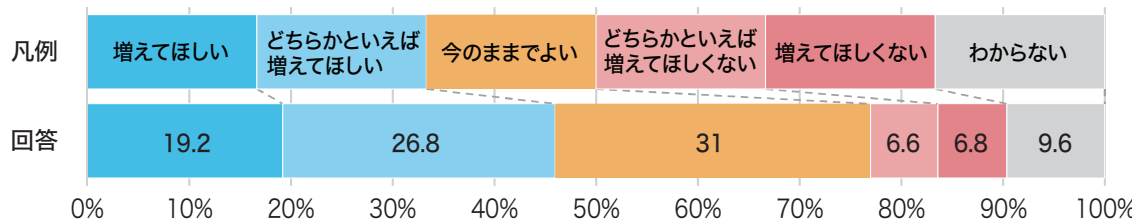




●あなたは、札幌に来る観光客との関わりを持ちたいと思いますか。次の中から1つお選びください。(%)

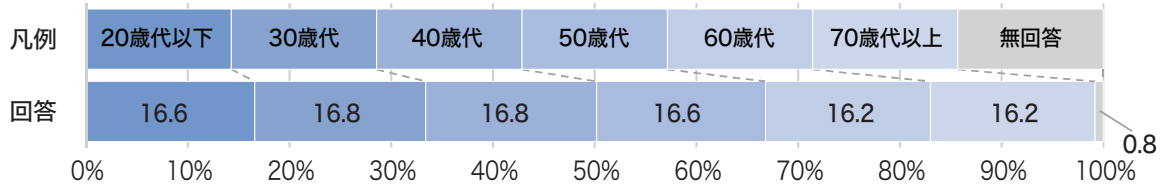


●あなたは、札幌に来る観光客が増えてほしいですか。次の中から1つお選びください。(%)

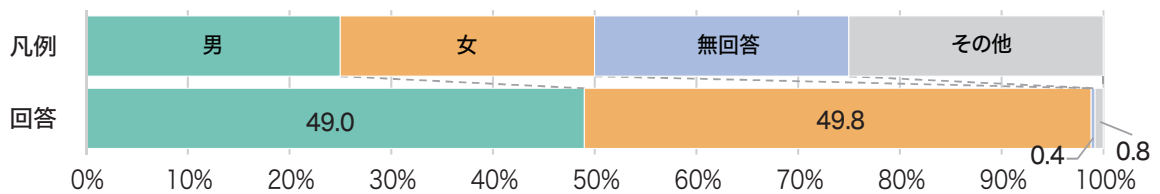


◆回答者属性

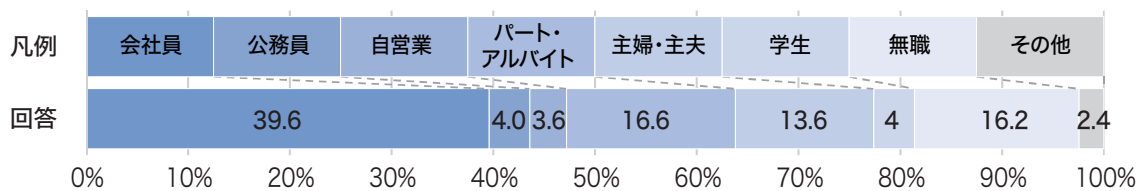
●あなたの年齢はおいくつですか。次の中から1つお選びください。(%)



●あなたの性別を教えてください。(%)



●あなたの職業を教えてください。(%)



第1章  
第2次札幌市観光まちづくりプランの策定に当たって

第2章  
将来ビジョン

第3章  
現状分析

第4章  
施策展開

第5章  
成果指標

第6章  
推進体制の強化に向けて

資料編

## V. パブリックコメント実施結果

### ① 実施概要

#### (ア) 意見募集期間

令和5年(2023年)12月25日(月)から令和6年(2024年)1月29日(月)まで

#### (イ) 意見提出方法

持参、郵送、ファックス、電子メール、ホームページのご意見入力フォーム

#### (ウ) 公表資料

第2次札幌市観光まちづくりプラン(案)

#### (エ) 資料の配布場所

- ・札幌市役所 15階 観光・MICE推進課、2階 市政刊行物コーナー
- ・各区役所 総務企画課広聴係
- ・各まちづくりセンター
- ・ホームページ

### ② 意見募集結果

(ア) 提出者数 2人(60歳代1人、70歳代1人)

(イ) 意見件数 5件

(ウ) 提出媒体別意見提出者数 郵送1人、ホームページのご意見入力フォーム1人

### ③ ご意見の概要と札幌市の考え方

No.	ご意見の概要	札幌市の考え方
第4章 施策展開 4.3. 施策と具体的な取組		
1	「具体的な取組」とあるが、抽象的で何をするのかわからない。そこで具体的な提案をする。次のような観光資源の開発を行ってはどうか。 1. 豊平橋のアーチを復活させる 2. 東屯田通りを昭和レトロにデザインする 3. カマクラホテル 4. 豊平川河川敷をカンジキウォーク体験 5. 冬のフリークライミング 6. 馬ソリ、馬スキー 7. 豊平川と石狩川の合流点を整備し観光地化 8. ススキノ夜市	札幌が持つ多彩な魅力を生かした観光資源の開発や磨き上げは重要だと考えており、施策1-1「札幌ならではの付加価値の高いコンテンツ造成」や施策1-2「多様な資源を活用した新たな魅力の創造」などにおいて取り組んでいきます。いただいたご意見は取組の参考とさせていただきます。

No.	ご意見の概要	札幌市の考え方
2	ハイグレードホテルはエネルギー効率が悪く、SDGsの政策とも矛盾する。また食品のロスも著しいので建設の必要は無い。	世界の旅行者に選ばれる観光都市を目指すためには、多様なニーズに対応した受入環境の整備が重要であり、国際水準の宿泊機能を備えたハイグレードホテルの整備は必要と考えております。なお、環境配慮など、SDGs への対応は重要と考えており、宿泊施設が行う取組への支援などを通じて推進してまいります。
<b>第4章 施策展開 4.3. 施策と具体的な取組</b> <b>② 方向性3 「誰もが快適に過ごせる受入環境の整備とおもてなしの向上」</b>		
3	CO <sub>2</sub> を大量に排出する、環境保全に非効率な、プライベートジェットの高層ビルへの飛来は、緊急の医療目的以外は、原則として断るべき。	令和4年11月に本市が策定した「丘珠空港の将来像」では、丘珠空港の担う役割として、ビジネスジェット機によるビジネスや観光での利用に対応していくことを掲げており、札幌・北海道の活力向上に向け、ビジネスジェット機を含む航空機による丘珠空港の利用を促進していく考えです。 これに向けては、環境への配慮も重要なものと認識しており、国が進めている「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」に向けたCO <sub>2</sub> 排出を削減する方策等の取組について、国が主体となり空港関係者事業者が一体となって取り組んでいるところであり、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。
4	地下鉄やJR駅の電光表示が、北京語、上海語、台湾語の3種類の簡略漢字を混ぜると、欧米から来た観光・ビジネス客が、日本語の漢字と混同して混乱する。北京、上海、台湾から来た人も、日本語の漢字でおよその意味は判るはずであり北京語、上海語、台湾語の表示は必要ない。また、子供や外国人が読み取りやすいように、ひらがな表示を付けるべき。	電光表示の外国語表記について、頂いたご意見を踏まえ、より分かりやすい表示が出来るよう努めてまいります。より多くの言語を提供することで外国人観光客の市内での主要な移動手段として利用いただけるものと考えておりますので、中国語の表記は継続してまいります。 また、ひらがな表記の部分についても、より多くの方が利用しやすい環境づくりのため、今後も可能な範囲で掲出できるよう努めてまいります。
<b>第4章 施策展開 4.3. 施策と具体的な取組</b> <b>⑤ 方向性5 「持続可能な観光地経営の推進」</b>		
5	札幌の夏場と2月のホテル宿泊価格が高騰している中、宿泊税を導入すれば千歳市等のホテルに流れるし、海外や本州以南からの来客のリピーター率が低下する。	これまでに宿泊税を導入した自治体において、宿泊税の導入によって宿泊客の減少が生じたという事例を本市としては把握しておりませんが、宿泊税を含めた宿泊料金の総額が高くなることに対するご懸念の声があるということは認識しております。このため、納税者の皆様に宿泊税の効果を実感していただき、宿泊税に対するご理解をいただけるような用途に充てていくとともに、用途の内容をわかりやすく広報していくことなどを検討してまいります。